

病児保育室 2022年 冬天

ポッぽだより



あけましておめでとうございます。今年もお子さんにとってよりよい保育・看護ができるように スタッフ一同頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

病児保育室での一日(一人ひとりのお子さんのペース・体調に合わせて過ごします

やけど注意

やけどしてしまった時はそのままお風呂に行き流水で長めに

しっかり冷やします。保冷材は禁止!!

冷やしタオルで冷やしながら受診して下さい。

冬はやけど事故が多い季節です。



お茶、みそ汁、カップ麺などでのやけど

◎テーブルクロスやランチョンマットは子どもが引っ張ってその上に置いた容器を倒します。 子どもを抱っこしたまま扱わないようにしましょう。





- ◎電気ケトルのコードを引っ張り、倒し、熱湯を浴びてやけどをします。コードを含め子どもの手の届かない所に置きましょう。電気ケトルやポットは倒れても中身がこぼれない製品にしましょう。
- ◎炊飯器から出る蒸気に触れてやけどします。子どもの手の届かない位置に置きましょう。

暖房器具や加湿器でのやけど



- ◎床に置くタイプの暖房器具は、安全柵などで囲み子どもの手が届かないようにしましょう。
- ◎湯たんぽや電気カーペットは長時間皮膚が同じ場所に触れて低温やけどをすることがあります。 長時間使用しないようにしましょう。

調理器具やアイロン、ヘアアイロンでのやけど

- ◎単純に触ります。調理後も高温であることがあるのでまだ熱い事を教え、子どもに触れさせないようにしましょう。
- ◎アイロンを使う際は子どもを近づけないようにしましょう。使用後はコードを含め手の届かない場所に置きなるべく早く片付けましょう。